

2050年、地球はどうなる——。



イメージイラストについて

イラストは、「環境対策を何もしなかった場合の2050年」をイメージしています。2010年代は、観測史上最も暑い10年でした。このまま地球温暖化が進むと、気候のパターンが変化し、「日照りによる干ばつ、山火事の増加、熱中症の増加」「農作物の収穫量の減少による食糧不足」「暴風雨の規模や発生数の増加」など、私たちの生活に様々な影響が出るといわれています。

加えて、ごみの不法投棄や工場排ガスなど、地球温暖化以外の脅威も存在します。私たちが環境についての取り組みをやめてしまったとき、訪れるのはこのような恐ろしい未来かもしれません。

作画について

伊藤 潤二（いとう・じゅんじ）。漫画家。

1963年、岐阜県中津川市（旧・恵那郡坂下町）生まれ。

1986年、第1回楳図かずお賞で佳作入選した「富江」でデビュー。代表作に「富江」シリーズ、「死びとの恋わずらい」、「うずまき」など。2023年、「第50回アンゴレーン国際漫画祭」（フランス）で特別栄誉賞、「サンディエゴ・コミコン」でインクポット賞を受賞。アメリカの権威ある漫画賞「アイズナー賞」で、2019年「伊藤潤二傑作集10 フランケンシュタイン」で最優秀コミカライズ賞、2021年「地獄星レミナ」で最優秀アジア作品賞、「伊藤潤二短編集 BEST OF BEST」など、で最優秀ライター／アーティスト賞、2022年「死びとの恋わずらい」で最優秀アジア作品賞を受けるなど、計4度受賞し2025年にアイズナー賞殿堂入りを果たす。伊藤 潤二 先生の作品は、日本だけでなく世界中にファンを持つ。

2025年5月、中津川市観光大使に就任。

※イラストについては、中津川市が提供したイメージをもとに伊藤先生に作画いただきました。